

皆様の日頃からの環境への取組に敬意を表するとともに、今回の「第22回環境コミュニケーション大賞」への御応募につきまして心から感謝申し上げます。

二〇一五年以降、SDGsやパリ協定など、持続可能な社会への移行を促進する国際的枠組みが確立されてきております。環境報告においても、事業者の皆様が中長期の時間軸で社会の変化をとらえ、課題に取り組むかを語るが必要になってきており、今回、各賞を受賞された報告書の中にも、こうした世界の潮流を受け止め、長期ビジョンとして自社の目指すべきゴールや方向性をしっかり語っているものや、SDGsと事業の関連をわかりやすく語っているものなどが見受けられました。環境省としても、このような動きを反映すべく、環境報告ガイドラインやエコアクション21ガイドラインの改定を行い、今後とも引き続きしっかり取り組んで参る所存です。

皆様におかれましても、持続可能な社会実現に向けた取組を継続し、さらに、発展させていただくことを心から期待する次第です。今後とも、環境行政への変わらぬ御協力をお願い申し上げます。

平成三十一年二月二十日

環境大臣 原田義昭

感謝状

国立大学法人愛媛大学殿

この度の「第22回環境コミュニケーション大賞」への御応募に心より感謝申し上げます

環境報告を通じた様々な関係者とのコミュニケーションが更に発展することを祈念いたします
今後とも環境行政への変わらぬ御協力をお願い申し上げます

平成三十一年二月二十日

環境大臣 **原田 義昭**

